

6. 北陸（地域別調査機関：（財）北陸経済研究所）

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	家電量販店（経営者）	販売量の動き	・アテネオリンピックを間近に控え、映像商品の販売量が大きく伸びている。特にDVDレコーダーは6月の第3週以降、前年比で2倍以上の売行きとなっている。
		スナック（経営者）	来客数の動き	・売上はメインの客筋の製造業が多忙のため、前年同月並みの実績を維持している。しかし、不況業種ではリストラ、減給、ボーナスなしという声も聞かれ、このような客の来店は減っている。
		旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・上海行きチャーター便の特需で全体の売上は前年に比べて倍増した。
		競輪場（職員）	単価の動き	・来場者数と1人当たり売上単価が上昇している。
		美容室（経営者）	来客数の動き	・来客数の前年割れは依然として続いているが、前月、今月と前年比のマイナス幅が小さくなっている。
		住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・来場者数は前年並みであったが、受注数は伸びた。これまでためらっていた客が、住宅取得に踏み切っている。
	変わらない	一般小売店〔鮮魚〕（店長）	単価の動き	・4月からの消費税総額表示により客単価が前年比5%低下している。来客数の増加でなんとかカバーしているが、単価下落の影響が売上に大きく響いている。
		一般小売店〔精肉〕（店長）	来客数の動き	・毎日の商品の動きは良くなっているが、ギフト関係はまだ良くない。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・7月から始まる夏物バーゲンへの対応が、バーゲンを待つ人とその前に買う人に分かれる。今年はバーゲン待ちの傾向がかなり強いので、厳しい状態が続いている。
		百貨店（営業担当）	お客様の様子	・自社、競合各社ともに夏物セールの前倒しを行っているが、客の様子を見ると、セール品に対しても価格に大変厳しく、慎重な品選びを行っている。
		スーパー（店長）	お客様の様子	・客の動きは活発になってきているが、単価が下がり続けており、全体としてはあまり変わらない。
		スーパー（総務担当）	来客数の動き	・気温が上昇したせいか、夏物の衣料品の売上が伸びている。ただし、食料品や日用品は変わっていない。
		スーパー（営業担当）	単価の動き	・4月の消費税総額表示導入時に単価を下げたが、来客数は前年と比較して変わらず、客の購買量も増えていない。
		スーパー（副店長）	単価の動き	・買上客数は前年に比べて減少しており、客単価のアップによりカバーしようとしたものの、売上は前年を下回っている。総額表示の導入による価格高の意識が、客に根強く残っている。
	コンビニ（経営者）	単価の動き	・来客数が前年同月比で10%増加したが、客単価が下がっている。	
	衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・天候がわずかに変化しても、商店街の通行量はすぐに影響を受ける。客の消費に対する意識は低調なままである。	
	乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・来客数は増えてきたが、売上は横ばい状態である。	
	乗用車販売店（経理担当）	単価の動き	・6月に新しい小型ワンボックスカーを発売したが、軽並みの安さで安全性もあり、予想どおり受注が伸びている。しかし、他の車種が伸びず、全体の活性化には程遠い。	
	乗用車販売店（経理担当）	販売量の動き	・新型車の発売効果も徐々に薄れてきたため、4、5月は受注ベースが落ちたが、6月になって高額車にやや持ち直しの動きが見られる。	
	高級レストラン（スタッフ）	販売量の動き	・大きな動きはないが、テレビや全国誌の表紙に出た店舗は前年の130%程度の集客があり、好調である。	
	都市型ホテル（スタッフ）	単価の動き	・来客数は前年を下回っているが、宿泊、レストランの通常営業、宴会などすべての部門で客単価が前年を上回っている。その結果、売上高も前年を上回り、3か月前と比べてもほぼ同額となっている。	

		タクシー運転手	競争相手の様子	・6月からタクシー会社が運転代行を始めた。一方、運転代行会社はタクシーに参入した。上旬は地元の大型イベントで少しは良かったが、全体としては競争激化により変わらない。
		パチンコ店(店員)	販売量の動き	・来客数、売上ともに変わっていない。
		設計事務所(職員)	販売量の動き	・年度始めの4、5月は引き合いが集中し、活気が感じられたが、今月は継続案件が中心で受注は低調なまま推移した。
		住宅販売会社(従業員)	販売量の動き	・全体の販売量では変わらないが、来客数が減りつつある。また、依然として土地価格が下げ止まりしないため、客の様子眺めから土地の販売数が減っている。
やや悪くなっている		商店街(代表者)	来客数の動き	・商店街の人通りが減少傾向にある。
		百貨店(売場主任)	来客数の動き	・参議院議員選挙の影響で来客数が減少している。また、クリアランスの実施を前にして、買い控えがみられる。
		スーパー(店長)	販売量の動き	・消費税の総額表示の導入により、客の単価や値ごろ感に対する印象が悪くなっている。
		乗用車販売店(総務担当)	販売量の動き	・今秋に中心車種の新型車が出るという予想のもとに、販売台数が落ち込んでいる。また、間もなく新型の登場する大衆車も発売待ちのため今月はやや不振である。
		都市型ホテル(スタッフ)	販売量の動き	・宿泊部門は好調であるが、全体の売上は減少している。
		通信会社(社員)	販売量の動き	・携帯電話の販売台数が純増ペースで伸び悩んでいる。
		テーマパーク(職員)	来客数の動き	・春先に比べて個人客はあまり変わらないが、団体客が少し落ちている。
悪くなっている		テーマパーク(職員)	来客数の動き	・参議院議員選挙や他地域での大型イベントの影響もあり、個人、団体ともに来客数は前年同月比で5%以上減少している。
企業動向関連	良くなっている	一般機械器具製造業(経営者)	それ以外	・大型連休後に一服感が出たものの、その後勢いが戻り、引き合い、受注件数、受注価格ともに強含みで推移している。
	やや良くなっている	繊維工業(経営者)	取引先の様子	・主要な取引先の業績が非常に向上している。
		金融業(融資担当)	取引先の様子	・取引先の設備投資が前年に比較して増加傾向にあり、種々の資金需要が発生している。
		新聞販売店[広告](従業員)	受注量や販売量の動き	・夏のボーナスを狙って、取引先ではチラシの折込量を増大させている。
		司法書士	取引先の様子	・新規事業に伴う不動産取引や担保権設定などの案件が増えている。
	変わらない	食料品製造業(企画担当)	受注量や販売量の動き	・特売の販売数量がここ数か月間伸び悩んでいる。
		建設業(総務担当)	受注価格や販売価格の動き	・建築工事の見積依頼は増加してきたが、受注価格競争は依然としてし烈で、採算確保に苦労する状況が続いている。
		輸送業(配車担当)	受注量や販売量の動き	・依然として受注量が少なく、価格もまだ下がり気味である。全体に活気がない。
	やや悪くなっている	化学工業(営業担当)	受注価格や販売価格の動き	・受注ペースに変化はないが、過激な価格競争で取引を断念せざるを得ないケースがいくつかあった。
		精密機械器具製造業(経営者)	取引先の様子	・3月ごろは若干良くなったという感じがしたが、今月は季節的要素も多少あるものの、眼鏡各社とも稼働状態が落ちている。
悪くなっている	建設業(経営者)	取引先の様子	・当社への納入業者が公共事業の激減により倒産した。売上がピーク時の3分の1となったため、建設業は確実に疲弊している。	
雇用関連	良くなっている	新聞社[求人広告](担当者)	求人数の動き	・求人広告は前年同月比7%増となっている。
	やや良くなっている	人材派遣会社(社員)	求人数の動き	・派遣社員の要請が依然として堅調に続いている。
		新聞社[求人広告](担当者)	求人数の動き	・6月の求人広告件数は前年同月の120%、売上は同137%となっている。
		民間職業紹介機関(経営者)	周辺企業の様子	・自動車、半導体、アルミ関連で人材募集が見られる。
	変わらない	職業安定所(職員)	求人数の動き	・新規求人の上昇傾向が止まり、新規求職者が減少した。

やや悪くなっている	求人情報誌製作会社（編集者）	求人数の動き	・ 求人件数が減少している。
悪くなっている	-	-	-